

大崎市立古川西小中学校

令和5年度前期 学校・家庭生活についてのアンケート結果から

今年度、本校では学校教育目標を「共に学び 高め合い 夢に向かって未来を拓く 児童生徒の育成」と定めました。8月に行った児童生徒及び保護者の皆様によるアンケート結果を分析し、より充実した教育活動を進めて参ります。

※「よくあてはまる」「あてはまる」を足した合計を肯定的回答としています。

回答数 保護者235世帯中235名（1世帯で複数回答いただいています。）

【評価指標】学校評価アンケート及び学校生活調査 児童生徒と保護者が肯定的回答90%以上

- | | |
|---|-----------------------|
| ① 「楽しく学校生活を送っていると思いますか？」 | (児童生徒93.3%, 保護者94.8%) |
| ② 「思いやりの心をもって人と接することができますか？」 | (児童生徒90.0%, 保護者94.0%) |
| ③ 「学校は、お便り・学校メール・西中ホームページなどで、学校からの連絡や生徒の様子を積極的に発信していると思いますか？」 | (児童生徒97.9%, 保護者97.9%) |



- ① 肯定的な回答が児童生徒93.3%, 保護者94.8%でした。今後も、児童生徒の自主的な活動を第一に考え、授業や学校行事、委員会活動、部活動等を進めて参りたいと思います。
- ② 児童生徒、保護者ともに肯定的な意見でした。学校行事や部活動、学級活動等を通して、ほとんどの児童生徒が仲間と良好な関係を築いています。その結果がこの高い数値につながっているのだと思います。しかし、児童生徒の中で各学年で数名が思いやりをもって接することができていないという回答でしたので、今後も学校で良好な人間関係づくりや居場所づくりに努めていきます。
- ③ 児童生徒が97.9%, 保護者が97.9%と肯定的な数値が高い結果となりました。今後も児童生徒の活動や学校の動きについて情報発信を行っていきます。

【評価指標】学校評価アンケート 肯定的回答 児童生徒と保護者どちらかが90%以上

- | | |
|--|-----------------------|
| ① 「授業を通して学習内容を理解していると思いますか。」 | (児童生徒94.9%, 保護者83.9%) |
| ② 「家庭学習にしっかり取り組んでいますか？」 | (児童生徒90.3%, 保護者74.9%) |
| ③ 「学校行事や部活動を通して成長していると感じますか？」 | (児童生徒83.3%, 保護者96.1%) |
| ④ 「規則正しい生活（早寝・早起き・朝ご飯）ができていますか？」 | (児童生徒92.5%, 保護者84.3%) |
| ⑤ 「自分から明るく元気なあいさつができていますか？」 | (児童生徒91.1%, 保護者82.4%) |
| ⑥ 「学校の様子や出来事を話したり（お聞きになったり）、話し合ったりすることはありますか？」 | (児童生徒79.0%, 保護者94.5%) |



- ① 94.9%の児童生徒が学習内容を理解しているという回答でしたが、保護者は83.9%と若干の開きが見られました。この結果から、児童生徒の学習に対する実感について保護者の方々が児童生徒のようには感じ取れないのではないかと思います。この要因として、保護者の方々が家庭学習の取組についてお子さんにもう少し頑張ってもらいたいという思いが強かったり、定期テストの結果等から判断したりされたのではないかと思います。本校では、今後も継続して、読解力向上シートに取り組み、読解力の向上を目指します。また、各教科でキュビナ学習を取り入れた基礎基本の定着や、話し合い活動やタブレット端末を活用した学び合いを通して更に分かる授業に取り組んで参ります。今後も自主的・自律的な児童生徒の活動を支援していきたいと考えております。
- ② 肯定的な回答の児童生徒は90.3%, 保護者が74.9%でした。保護者の約25%が家庭学習への

取組に満足していないという結果でした。今後も、本校では、各教科や学年で児童生徒一人一人のキュビナ学習の定着や、家庭学習の継続的な取組を支援して参ります。ご家庭でも、家庭学習の習慣化のためにお声掛けをいただければと思います。また、家庭学習は人間関係や、十分な睡眠や食生活などの生活習慣、スマホの取扱い、ゲームなどの様々な要因がバランス良く絡み合ったときに習慣化されます。ご家庭で再度ルールを決めるなどのお話をいただければと思います。

- ③ 児童生徒が83.3%，保護者が96.1%でした。本校では「大崎耕土の中で生きる自分たち」に焦点を当てた総合的な学習の時間の取組として、各学年で地域の方々の温かいご支援をいただきながら田植えや稲刈り体験をさせていただき、公民館と連携した防災教育や障害理解教育、寒梅酒造とのコラボ企画などを行ってきました。また、中総体や新人大会に向けて、限られた時間の中でも技術の向上を図るために、生徒主体の活動の推進を図っています。さらには、縦割り清掃や児童生徒会活動などによる異学年のつながりを大事にした取組など、様々な活動の中で、誰かに頼られる喜びや、誰かに支えられる安心感となっています。このような自己有用感が児童生徒の自信となり、自分自身の成長を実感しているのではないのでしょうか。今後も、中身を吟味した取組を継続し、まだ成長を実感できない約15%の児童生徒に成長の喜びを実感させたいと考えております。
- ④ 肯定的な回答の児童生徒は92.5%，保護者は84.3%でした。保護者の約2割が規則正しい生活ができていないという回答でした。勉強や部活動、人間関係などは規則正しい生活があつてこそ良好な結果が得られるのではないのでしょうか。学校では、規則正しい生活についてこれまでも、養護教諭の保健便りや学年便りをはじめ、様々な形で児童生徒に情報発信をしておりますが、今後も継続して参ります。ご家庭でもお声掛けをお願いいたします。
- ⑤ 肯定的な回答の生徒は91.1%，保護者は82.4%でした。保護者の皆さんのご協力のもと、おはようバードの活動等であいさつ運動を行っておりますが、1割程度の児童生徒があいさつを自分からできていないと回答しています。季節の変化や日々の生活の忙しさ、悩み等により行動は変化していきます。タブレット端末での「相談フォーム」やスクールカウンセラー、ぶらっとルーム、そして全ての教職員が児童生徒のSOSを受け止められるように常に寄り添い、話に耳を傾けていきたいと思ひます。ご家庭でも気になることがありましたら、ご連絡いただければと思います。
- ⑥ 肯定的な回答の児童生徒は79.0%，保護者は94.5%でした。学校での児童生徒の様子を振り返りますと、教職員に親しみを込めて話し掛けたり、相談してくる生徒が日々の生活で当たり前な光景として見られます。これは、ご家庭で安心して話せる雰囲気をつくっていただいていることで、家族以外の大人を信頼することができるのではないかと思います。今後も、児童生徒と良好な関係を築いていき、安全安心な学校づくりを進めます。

保護者の記述から

10 学校が教育活動を行う上で、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか？

ご意見1 学習について

〈ご意見1〉学習について

- ・教育面を強化してほしい。仙台圏は学力が全国平均に近いのに対して、仙台圏外は学力が芳しくない理由は分からないですが、できる子にはもっと学力を伸ばせる、個に合った環境を整えてもいいと思います。1年生からキュビナを使えるようにしてほしいと思います。
- ・一人一人の生徒の学習進度や理解に合わせた教科の学習
- ・個人の能力に見合った頑張れる学習環境を今後も作っていただければと思います。
- ・考える力をのばす学習
- ・英語学習

【回答】

外国語、英語科ではデジタル教科書を導入し、児童生徒が家庭でも発音練習や生の英語に触れることなど、主体的に学習できる環境を整えられました。また、今後も継続して、授業でALTの生の英語に触れる機会を設けたり、グループ学習やペア学習等で英会話を実際に行ったりすることで実戦で活かせる英語力を身に付けさせたいと考えております。

さらに、キュビナ学習で基礎基本の補充問題の取組が定着してきています。児童生徒一人一人が自分の苦手な箇所を把握することで、家庭学習で何を勉強すればよいかという気付きを促しています。また、教科によっては、別室での個別支援を行ったり、休み時間や放課後に教える機会を設けており、今後も継続して取り組んでいきたいと思ひます。また、1年生からのキュビナの導入については検討して参ります。

〈ご意見2〉 体力向上について

- ・車での通学が増え、体力面が低下しているのではないかと心配になりますので、体育の授業等で体力向上に力を入れて欲しいです。

【回答】

体力向上については、体育の授業において運動量の確保に努めたり、業間休みの異年齢交流で、運動することの楽しさを実感させたりしていきます。さらには、部活動では部活動ガイドライン（土日のいずれか1日は休みとし、平日5日のうち1日は休みを基本とする）に従って、生徒の負担等を考慮していきながら体力の向上に努めて参ります。

1 1 学校では、保護者の皆様の考えを大切にしながら教育活動の向上を目指したいと考えています。建設的なご意見がある場合には、ご記入ください。

〈ご意見〉

- ・プールの見守り支援など親が参加する活動が多く、親としては子供たちの姿が見られていつも楽しく活動させてもらっています。また、普段の授業参観ではなかなか話せないお母さんたちとも交流ができて大変ありがたいと思っています。ただ、学校のスケジュールの変更については早めに連絡が欲しいと思います。最初にもらった年間行事予定表では夏休みが8月22日までだったが22日が始業日になっていたり、7月に登校日を設けるなど。特に年間スケジュール表は1から9年生まで書いてあるので見づらく見落としやすいです。

【回答】

学校のスケジュールについては「毎月の行事予定」でお知らせしていますが、変更等でご迷惑をお掛けしていること大変申し訳ありません。今後も、急な変更が生じた場合には、学校メールでお知らせすることになります。また、疑問や要望がある場合には、直接お電話でもかまいません。大変申し訳ありませんがご対応をよろしくお願い致します。

なお、保護者の皆様の声に直接耳を傾ける場として、7月よりモーニング・ミーティングを実施しています。次回は11月7日です。

〈ご意見〉

- ・iPadの使い方、家庭で何時間まで使っていいなど一応学校で決めて頂きたい。

【回答】

タブレット端末の使用については「保護者の皆様へお願い」という形で大崎市教育委員会より出されています。本校ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。また、学校では使用時間を特に定めてはいませんが、眠育の観点から申し上げますと、小中学生に適した睡眠時間が8～9時間と言われております。仮に22時に寝て、6時に起きると8時間睡眠となります。夕食を済ませて寝るまでにお風呂の時間や勉強の時間を考慮しますと、残りの時間はどのくらいになるでしょうか。どうぞ、ご家庭で、このような話し合いをされて、お子さんが納得した形でタブレット端末を使用させていただきたいと思えます。ちなみに、教育委員会から貸し出しているタブレット端末は「学習以外のことには使用させないでください。」とあります。この点もお考えください。

〈ご意見〉

- ・同学年でもクラスによって帰りの会の終了時間が大幅に違いがあることがあります。送迎する側はお便りで迎えの時間を確認して行くのですが随分と待たされることがあります。10分15分ずれてしまうのは仕方がない事ですが…。帰りの会が同学年でもそのクラスによって違うのは何か特別な理由があるのでしょうか？

【回答】

帰りの会が遅くなったことでお待たせしてしまい申し訳ありません。1日の時間は共通していますが、児童生徒の発達段階でも違いがありますし、各学年やクラスで放課後学習（各学年で連絡しています）を行ったり、話し合い活動が長引くことがあったりするなど、時間に差が出てしまうことがあります。できるだけ、時間通りに進めるようにしておりますが、大幅に遅れる場合には、学校メールでお知らせします。よろしくお願い致します。なお、何か気になることがある場合にはご連絡をいただくことで即対応していきます。よろしくお願い致します。

〈ご意見〉

- ・統合によりクラスメイトの人数が増えた分、競争心が増すだろうと思っていました。しかしながら、うちの子だけかもしれないが逆に作用している様子があります。周りの雰囲気に向けて、積極的に行うことが少なくなっているようにも見えます。自らやろうとする積極性を促すような学習スタイルの検討をしていただけると幸いです。

【回答】

今回、このご意見をいただき、この方だけではないのではと感じました。これまで、少人数で生活した日々から、大人数になり、楽しいことも増えたでしょうが、不安や悩みも増えた児童生徒もいると思います。教職員スタッフでそのようなお子さんがいつでもSOSを出せるような体制作りにも今後も努めて参ります。また、日々の授業でも自主性を大切にしながらも、一人一人に寄り添った教育活動を行っていきたいと思います。

〈ご意見〉

- ・部活動の活動時間が少ない為せっかく覚えて勝てる試合も練習時間が少ない為練習時間が減り勿体無いように思います。部活動の活動時間が減る為クラス以外の先輩や後輩とのコミュニケーションの時間が少ないように思います。

【回答】

全国的に部活動について議論されているところですが、大崎市でも来年度の部活動の在り方について話し合いが進んでいます。

本校では、部活動ガイドラインに従って、土日のいずれか1日は休みとし、平日5日のうち1日は休みを基本とし、活動しています。この決められた時間に個の技術の向上と仲間と協力して1つの目標に向かって取り組む態度を養っています。教員の勤務時間（8：10～16：40）の関係もあり、今年度のような時間になっています。ご理解をお願いします。これからも、一人一人が短い時間の中で自分ができることを考えさせながら取り組ませていきたいと思います。また、異学年交流を生徒会活動や学校行事等で計画し、取り組ませる時間をとっていきます。

【ご意見】

- ・参観日後の、学校応援団の活動報告があったに、接続が不完全でした。隣の教室に移動するなど、対応があったのではないのでしょうか？懇談会に参加しているのに、教員からの一方的な話で意見交換など、各家庭から一言や、自己紹介などありませんでした。仕事の休みを取って来ているのに、散々な参観日だなと感じました。授業内容も、活動と発表の予定でしたか、発表したのは1つの班だけで、発表の練習もしていませんでしたと、子供から聞きました。準備不足なのか？経験不足なのか？ガッカリした参観日でした。

【回答】

お仕事を休んで参加していただきありがとうございました。それにも関わらず、満足のいく内容にできず大変恐縮しております。今後はこの反省を生かし、時間にゆとりをもたせた会にしていきたいと思います。今後も変わらぬご協力をお願いします。

【ご意見】

先生方の意見が統一してない。

【回答】

統一していないという印象を抱かせてしまい大変恐縮しております。今後も、教職員全員で共通理解を図るため、情報共有をあらゆる場面で行っていきます。なお、具体的にどのような意見だったのかお知らせ願います。改めて学校としての見解を示させていただきます。

〈ご意見〉

- ・訪問者の警備の強化は必要だと思います。

【回答】

宮城県内でも、不審者による事件が新聞を賑わせておりますが、本校では、朝のおはようバードを1年を通して保護者の皆さんと行っています。また、校舎の施錠の徹底や、校内付近での表示、校内や校舎近くのバリケードの設置、来校者カードの着用、防犯カメラ3台の設置、不審者対応訓練等を行い、備えていますが、更に安全安心を意識した取組を行っていききたいと思います。

※以上となりますが、全体に関わる項目を載せています。個別の質問については、担当学年から個別に回答します。

「行きたくなる学校アンケート」から

各学年で「行きたくなる学校アンケート」を行いました。その結果をもとに各学年の教員で分析を行い、生徒にどのような学校生活を過ごさせたいか話し合いました。ご覧ください。

7学年

1 アンケート

- (1) あなたは、たのしく学校生活を送っていると思いますか。
- A よくあてはまる 40.6% B あてはまる 46.9%
C あまりあてはまらない 6.3% D まったくあてはまらない 6.3%
- (2) あなたはみんなで何かをするのは楽しいですか。
- A よくあてはまる 37.5% B あてはまる 53.1%
C あまりあてはまらない 6.3% D まったくあてはまらない 3.1%
- (3) あなたは授業にすすんで取り組んでいますか。
- A よくあてはまる 21.9% B あてはまる 68.8%
C あまりあてはまらない 9.4% D まったくあてはまらない 0%
- (4) あなたは、授業を通して学習内容を理解していると思いますか。
- A よくあてはまる 12.5% B あてはまる 71.9%
C あまりあてはまらない 15.6% D まったくあてはまらない 0%

2 結果から

7学年では、「みんなで何かをするのは楽しい」「授業にすすんで取り組んでいる」の2項目で肯定的回答が90%を超えていました。一方で、「授業を通して学習内容を理解している」については、84.4%と肯定的回答若干低い結果でした。この結果から、みんなで1つの課題に取り組むことに充実感を抱いている生徒がいる半面、その学習内容について一人一人の定着にまでは至っていない場合があると考えます。

3 今後の取組

7学年に進級し、新しいクラスメイトと新生活がスタートして数ヶ月が過ぎました。生徒たちは、自分の役割を果たしながら、当番活動や清掃活動等に協力して取り組んでいます。また、気付いたら声掛けしたり、手伝ったりする姿が多く見られ、相手を思いやって活動している生徒がほとんどです。学年の活動でも、学級の協力を必要とする活動を取り入れて活動してきた成果が表れていると感じます。先日の志津川宿泊学習でも、クラスや班で協力しながら活動し、達成感を味わうことができました。今後もこのような活動を取り入れて更により学年集団を作れるようにしていきたいです。

「授業を通して学習内容を理解している」については、1つの課題にみんなで取り組みながら、理解が不十分な生徒や遅れている生徒へ生徒同士で教え合うことや、理解が不十分な生徒への支援の手立てや、一人一人の学習内容の定着を図るために、授業の振り返りを行うことや、まとめとして課題を出すなどの取組が必要と考えます。また、授業で学習した内容を定着させるためにも、家庭学習を進めることを声掛けしていきます。

「行きたくなる学校アンケート」から

各学年で「行きたくなる学校アンケート」を行いました。その結果をもとに各学年の教員で分析を行い、生徒にどのような学校生活を過ごさせたいか話し合いました。ご覧ください。

8学年

1 アンケート

(1) あなたは、たのしく学校生活を送っていると思いますか。

- A よくあてはまる 62.9% B あてはまる 34.3%
C あまりあてはまらない 2.9% D まったくあてはまらない 0%

(2) あなたはみんなで何かをするのは楽しいですか。

- A よくあてはまる 71.4% B あてはまる 28.6%
C あまりあてはまらない 0% D まったくあてはまらない 0%

(3) あなたは授業にすすんで取り組んでいますか。

- A よくあてはまる 31.4% B あてはまる 57.1%
C あまりあてはまらない 11.4% D まったくあてはまらない 0%

(4) あなたは、授業を通して学習内容を理解していると思いますか。

- A よくあてはまる 17.1% B あてはまる 62.9%
C あまりあてはまらない 20.0% D まったくあてはまらない 0%

2 結果から

8学年では、「みんなで何かをするのは楽しい」100%の肯定的回答でした。また、「たのしく学校生活を送っている」「授業にすすんで取り組んでいる」で90%を超える肯定的回答でした。ただ、「授業を通して学習内容を理解している」については肯定的回答が80%と他の回答と約20%の開きがありました。この結果から、普段仲間と1つの課題に取り組んでいます。学習内容を理解したという実感には至っていないことが分かります。

3 今後の取組

8学年の前期を振り返ると、「松島宿泊体験学習」や「各地区公民館学習」などは言うまでもなく、学級活動においても、学年全体で活動する機会を持ちました。学級単位で進めることよりも、8学年は一つという意識の下、諸活動を行ってきたことが肯定的な回答の裏付けとなっていると考えられます。また、昨年度と比較して、話し合い活動では男女分け隔てなく協力して課題に向き合うようになったり、自分の考えを発表する活動に前向きに取り組んだりする姿が見られます。多くの他者の考えに触れ、知見を広げたことで、他人を思いやる気持ちも育っています。

後期には、職場体験や立志式、修学旅行への取組など、学年全体で活動する機会が多くあります。今後もそのような機会を大切に、学年で統一した方向を見て生徒を育てていきたいと思ひます。

力を入れたい内容としては、学習です。授業のみで学習内容を理解することは難しいです。授業で学習した内容をきっかけとして、家庭学習を充実させる指導をしていきたいと思ひます。中学校生活の折り返しを迎え、家庭学習の見直しを図ることも必要です。教師が一人一人に寄り添い、どのような家庭学習が効果的かともに考えていく機会も作っていかうと思ひます。

「行きたくなる学校アンケート」から

各学年で「行きたくなる学校アンケート」を行いました。その結果をもとに各学年の教員で分析を行い、生徒にどのような学校生活を過ごさせたいか話し合いました。ご覧ください。

9学年

1 アンケート

- (1) あなたは、たのしく学校生活を送っていると思いますか。
- A よくあてはまる 62.5% B あてはまる 33.3%
C あまりあてはまらない 0% D まったくあてはまらない 4.2%
- (2) あなたはみんなで何かをするのは楽しいですか。
- A よくあてはまる 75.0% B あてはまる 20.8%
C あまりあてはまらない 0% D まったくあてはまらない 4.2%
- (3) あなたは授業にすすんで取り組んでいますか。
- A よくあてはまる 41.7% B あてはまる 54.2%
C あまりあてはまらない 4.2% D まったくあてはまらない 0%
- (4) あなたは、授業を通して学習内容を理解していると思いますか。
- A よくあてはまる 29.2% B あてはまる 58.3%
C あまりあてはまらない 12.5% D まったくあてはまらない 0%

2 結果から

9学年では「みんなで何かをするのは楽しい」「たのしく学校生活を送っている」「授業にすすんで取り組んでいる」で90%を超える肯定的回答でした。ただ、「授業を通して学習内容を理解している」については肯定的回答が87.5%と他の回答と約10%の開きがありました。

3 今後の取組

9年生は中学校に入学して、これまで3年間を通して、地域学校協働活動による授業を20回以上実践し、充実した学校生活を送ってきました。コロナ渦ではありましたが、地域とともに、仲間とともに過ごしてきたことが生徒らの大きな力につながっています。集会やホームルームを通して、確かな成長を伝え続ける機会を持っていき、しっかりと子ども達に自信をつかませていきたい思います。

学習内容については、全国学力学習状況調査では全国平均値を超える教科があり、素晴らしい成果を挙げました。また、これまでよりも全国平均値を縮める教科も見られ、学年全体として日々の授業を大切にしているところが成果として表れています。授業の様子から、自分で解決する意欲に加え、仲間の考えを参考に力を伸ばす生徒も増えています。また、分からないところを時間内に解決するために仲間と考えたり、教師に相談したりと 温かい雰囲気と集中力を高めた空間で 授業することが当たり前になっています。

このような学習に対する意欲と雰囲気づくりを今後も継続していくよう、働きかけていきたいと思います。さらに、家庭学習に繋げて、学力の向上を図れるよう、励まし続けていきます。